

今までいろんな人たちと出会ってきたけれど、

まだ出会ったことのない人、

というのがこの世界には、まだまだ、たくさんいて、

その中には出会ったらきっと楽しい、

とても素敵な、

うまい酒の酌み交わせぬ、

ものすごく趣味の合う、

ずっと一緒にいても疲れない、

よね、

そういう人たちがたくさんたくさんいるのかもしれない。

そんな人たちと、どこどこか、

いつか、ばったり。

期待して、目を閉じる。

コーヒーを飲みながら。

期待して、

ミルクティーを飲みながら。

目を閉じる。

紅葉が好き。

イチヨウとか、もみじとか、カラマツ、カエデ、ハナミズキ

そういうカラフルになった葉っぱと洋服の色を合わせて外を歩くのが好き。

だったのに、

こないだ自転車で乗って買い物に行こうと思ったら、前カゴいっぱいイチヨウの葉が詰まってい

て、あ、もう、

今年の紅葉もだいたい終わりっすねえ、

ええ——。

て、そう言われた心地がして、

ええ——って。ええ——ってなって、大変、遺憾だった。

よく見れば、公園とか、道路とか、ガードレールとか、あまごいとか、スナックの看板とか、そんなものたちの周りも落ちた葉っぱでいっぱいになっていて、それに私はうかうかと気づかず日々を過ごしてきたわけ、どこどことぼんぼり左様に、近頃、あたしのアンテナは大変鈍っているようだ。

よんじくなこ。

もしかする、結構、思いっきり、壊れてしまっているのかもしれない。

でも、
かえって、
むしろ、
逆に？
最初会った時には、
なーんかつまらないヤツ、
としか思っていなかった人が、だんだんだんだん、
すっげえ面白い、
ウケる
もう大好きっ
と変化していく時もあるわけで、
だんだんだんだんだん、
の出会いも、結構あなごれない。

思えば紅葉もある日突然紅葉になるわけではなく、だんだんだんだん、紅葉になっていくわけで、
「いいっだ！」と思った奴がちっとも「いいっし」「じゃなっし」「いいっじゃなっだろ」と思った奴が意
外とだんだん「いいっし」になったりするわけだ。
やっし。

これらの現象を総合して考えてみると、「もしかしてひょっしやんや、あたしにはかなり」「人を見る
田がない」「いいっしになるのかもしれない。

なりはしないだろっか？

うーん。

そうかもしれない。かもしれない。

もしかして、

ひょっしやんや、

そうかもしれない。かもしれない。

いや、きっしやっだ。

もはや認めざるをえない。

「あたしには、人を見る目が、ないみたい」
はな。

いや、笑い事じゃない。

やっべ。どっで落ちて来たんだろっ？ あたしの「人を見る目」。

そもそも人を見る目ってどっつに於いて手に入られるものなんだろっか？

人生経験とかいっぱい積んで、人間観察とかいっぱいして、あるいは、どっかに売ってたら結構い
い値段でも買っつのに。

人を見る目。

買っな。買っっちゃっな、いっぢや。

二十七万までなら出すー

なぜなら、普通運転免許証よりも私は人を見る目が欲しいからー

去年せっかく免許をとったというのに、一回、車庫入れに失敗してブロック塀にお尻をこすって以来、全くハンドルを握ってないんです。一年にしてペーパードライバーになった私が今後、車に乗るタイミングを見しけるにはおそろしく一生無くてしょう。

そうすれば、

無傷の私の運転免許は、めでたくゴールド免許になるでしょう。

そうすれば、

無傷の私の運転免許は、何の価値もない、ゴールド免許になるでしょう。

「人を見る目」は、えんじのカラーコンを入れたみたいで鈍い赤色をして、あたしに買ってもらった日をじっと待っている。古びた雑貨屋さんの店頭で、在庫処分で並べられた薄汚れたワゴンの中こそれはあって、何かの間違いいじやないですか？　って感じで「二十七万円」という値札が堂々と貼っつけてある。

「人を見る目。二十七万円せ」

そんなはずはない。

でも、

バカげてる。

でも、

んなアホな。

でも、あつたらきつと。

落っこつたらきつと拾う。

あーあ。

はーあ。

はあ。

ハー。ハー。

息が白い。

雲が遠い。

風が冷たい。

空気が冷たいと硬くなってちゅと痛む。

マスクでもしようか。

マスクをするとう、鼻から入る空気に適度な湿度が保たれて喉がうるおい、風邪の予防にもなり、しかもメイクをしていなくてもあんまり哭い込まれない、と、この事がいっほごめなのですよ。

あ、なんか落ち着く。へ。う。う。う。

電車に乗るときは、マスクと曇り眼鏡とメガネ、それをフードまでがっしり被って一番端っこの席に座りたい。みんな死ねね。とか思いながら銀色のポールに寄りかかっして、脱気を賣りたい。

マスクも邪魔。

帽子もダテメガネもフードもぜんぶ邪魔。

だけど、邪魔なものたちが私を守ってくれる。

だからちよっと好き。

邪魔だけど好き。

好きだけど邪魔。

邪魔するな！

どけどけー！

いつか、ばったり、

できないだろうか。

今までいろんな人たちと出会ってきたけれど、

まだ出会ったことのない人、

というのがこの世界には、まだまだ、たくさんいて、

その中には出会ったらきっと楽しい、とても素敵な

つまみ酒の酌み交わせぬ、

ものすごく趣味の合う、

ずっと一緒にいても疲れない、

よゆうな、

そういう人たちがたくさんたくさんいるのかもしれない。

そんな人たちと、どこにかして、

いつか、ばったり、期待して。

目を閉じる。

帽子とダテメガネとマスクとフードを外して、

ゆっゆっ、

暖かいコーヒーを飲みながら。

いつか、ばったり。

期待して。

目を閉じる。

期待して。

目を。